

第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプランにおける 数値目標の見直しについて

「第3期千葉市国民健康保険事業財政健全化に向けたアクションプラン」（以下「第3期アクションプラン」）における数値目標のうち、「保険料収納率」について、下記の通り見直しましたのでお知らせします。

目標数値（保険料収納率）の見直し

- ・被保険者は高齢者が多く、医療の高度化などで医療費が増加し、今後は保険料の増額改定が見込まれています。
- ・2018年度（平成30年度）の決算見込（12月末時点）において、現年分・滞納繰越分収納率がすでに2019年度（平成31年度）の数値目標を上回っています。

⇒ 保険料の増額改定が予定されている2019年度（平成31年度）から第3期アクションプランの目標数値を見直し、更なる歳入の確保に努めていきます。

【見直し前】

	2018年度 (平成30年度) 決算見込 (12月末現在)	第3期アクションプラン数値目標 (%)			
		2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度 (平成33年度)
現年分	91.1	90.5	91.0	91.5	92.0
滞納繰越分	21.3	20.1	20.6	21.1	21.6
全体(参考値)	77.0	76.2	77.0	78.0	78.9



【見直し後】

	2018年度 (平成30年度) 決算見込 (12月末現在)	第3期アクションプラン数値目標 (%)			
		2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度 (平成33年度)
現年分	91.1	90.5	92.3	92.8	93.3
滞納繰越分	21.3	20.1	20.6	21.1	21.6
全体(参考値)	77.0	76.2	78.7	79.2	79.8

※2019年度（平成31年度）からは現年分滞納者への対策を重点に強化していきます。

徴収対策の強化

数値目標（保険料収納率）を達成するために徴収体制の整備を行い次の取り組みを行っていきます。

- ・現年分滞納者への委託による催告
- ・SMS（ショートメッセージサービス）を利用した催告
- ・転出滞納者の調査
- ・現年分滞納者への徴収対策（差押）の強化